



# まちづくり情報特派員特集

先月号のまちかどトピックスでは、神奈川県広報コンクールでの「広報かいせい」の受賞が取り上げられていました。ここ数年、何度も表彰される成果をあげていますが、果たして、どのような担当者がどのように広報を作っているのでしょうか…？今回、広報作成の裏側に迫りました！

企画政策課 ☎84-0312

## ③編集作業



目に留まるような写真を多用し、「読む」のではなく、「見る」を意識した広報作りを心がけています。

## ②取材・撮影



取材・撮影をします。その人らしさが伝わる文章作成や、写真撮影を意識します。

## ①企画・打ち合わせ



担当課と構成案を基に打ち合わせを行い、掲載する情報を整理します。

## 広報かいせいができるまで



## ④校正



印刷業者が作成したゲラ(※)を、全職員で文字などに誤りがないかチェックします。(※)ゲラ…誤字脱字のチェックをするための原稿

校正は全部で3回行います。デザインに納得いかない時は、2回目の校正で大幅に変更することも…

これを担当者間では「必殺2枚返し」と言い、印刷業者を困惑させてしまいます…

## ⑤印刷製本・配布



印刷業者が印刷製本を行います。納品後、シルバー人材センターのスタッフが仕分け、各自治会を通して皆さんにお届けしています。



広報かいせい 平成30年9月号▶



**広報かいせいの裏方**  
取材や撮影に走り回っているのは、このお二人。平成29年から担当する村上光さんと平成31年から担当している高橋洋樹さんです。村上さんは、同じ子育て世代の方が共感できるページを作り、高橋さんは慣れないカメラをから勉強し、特に料理の写真や、食レポで魅力を伝えることに精を出しています！  
伝えたいことが多いと文字ばかりになってしまいがちですが、それでは、なかなか広報を読んでも頂けません。いかに写真で語り、そして内容を読んで頂けるか？開成町の魅力をどう伝えるか？様々な世代に、ページを開いて頂けるように考えて紙面を作っているそうです。  
また、紙面作りだけではなく、各部署との打合せや、年間の行事の擦り合わせなど、表に出ない大切な部分も頑張っています。

## 取材後記

今年も神奈川県広報コンクールで、優秀賞など複数の部門で入賞した広報かいせい。「次こそ1番を！」と意気込む二人です(笑)。

楽しむことを忘れずに、もちろん努力も惜しまない。この姿勢が今の「広報かいせい」の魅力です。「情報特派員」も力いっぱいお手伝いしますよ～!! 楽しく頑張らしましょう!! まちづくり情報特派員 小田 猛

# Voice

## 広報かいせいに寄せられた声



### 開成町に来てから 広報を読むようになりました

以前住んでいた市では、ほとんど広報を読むことがありませんでした。開成町の広報は、「読んでみたくなる」写真の構図やデザインで、毎月楽しみにしています。よく読む記事は、「開成町でカンパイ☆」。開成町に引っ越してきたばかりなので、これまで入ったことがない昔ながらの飲食店にも、記事で紹介されていると入りやすくなりました。今では、広報は欠かせない情報源です！



梶尾さんご一家 (円中)  
有巧さん  
真理さん  
和日ちゃん



横浜市 るきさん

町外の方にも読まれています！  
開成町の広報は、あじさいちゃんの記事が他の市町村と一味違って、あじさいちゃんが遠くで小さく写っていたり、手だけの写真だったり、開成町民ではありませんが毎月楽しみです！

## ご存じですか WEB版 声の広報

「声の広報」とは、文字による情報入手が困難な方などへ「広報かいせいおしらせ版」の情報を届けるため、すべての内容を声で録音し、町ホームページで音声データを公開しているものです。

音読を行っているのは、「音声訳ボランティアの会」の皆さん。現在の会員数は9人。

収録では、読み上げの速さや、トーンを均一にするなどの注意が求められます。また、「『どうすれば伝わりやすいか』をみんなで模索し、楽しみながら収録しています」と皆さんは笑みをこぼします。

最近では、自動音声による読み上げ機能などありますが、人の声でこそ伝わる情報もあります。これからも、「音声訳ボランティアの会」の皆さんとともに、様々な情報を発信していきます。



町HP▶



## 音声訳ボランティアの会



▲上段左から、舟橋 ゆみ子さん、沖野 卓子さん  
下段左から、石崎 雅美さん、近藤 玲江さん

## ……広報かいせいへの意見・感想は…… はがき・メール・ファックスで企画政策課



町ホームページからお送りいただけます。HP <http://www.town.kaisei.kanagawa.jp/> これまで発行した「広報かいせい」をご覧ください！

**町への愛着を深める 広報紙を目指して**  
町の情報は、ホームページなどでもお知らせしていますが、中でも広報紙は、全ての自治会加入世帯に届けられ、パソコンやスマートフォンがなくても町の情報を得ることが出来る唯一の手段です。  
私たちは、広報かいせいが、より多くの町民の皆さんに読まれ、町への愛着を深めてもらえるような広報紙となることを目指しています。そのため、皆さんが「読みたい」と思っただけのような企画やデザイン、紙面づくりなどを常に意識しています。また、行政情報の発信だけでなく、町の魅力や町民の皆さんの取り組み、活躍、思いなどを、広報担当者が直接足を運んで取材し、お伝えできればと思っています。